

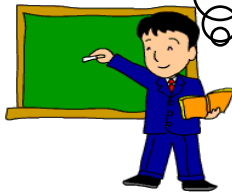
最適の単元を貫く言語活動を選定する。

2013.12.18

単元を貫く言語活動を意識せずに授業すると・・・

今日のめあては、「五の場面の主人公の気持ちを詳しく読み取ろう」です。前の時間と同じように、まず音読して、そして話し合ひましょう。

同じことの繰り返してつまらないな。何のために勉強をしているのかな？



単元の指導計画
第1次 初発の感想
第2次 場面読み
第3次 まとめ



数多くの言語活動の中から、単元の指導目標を実現するのに**最適**なものを選ぶ。

説明や報告をする。
感想を述べる。
話し合う。
紹介する。
意見を述べる。
討論を行う。

メモにまとめる。
図鑑にまとめる。
リーフレットを作る。
ポスターセッションを行う。
手紙を書く。
記録文を書く。

物語を演じる。
音読（朗読）をする。
新聞を作る。
批評する。
推薦文を書く。
情報を比較する。

さらに、
単元で付けたい力
言語活動の特徴
児童・生徒の実態
を考慮し
言語活動のねらいをより具体的にする。

単元で付けたい力 をもとに

注意 何をねらい「書く」のかを明確にする。
書くことを目的に「活用」として書く言語活動もあれば、読むことを目的として書く言語活動もある。（話す・聞く、読むも同様）

学習指導要領の言語活動例などを参考に

図鑑を読んで好きな乗り物の情報を得て、乗り物図鑑にまとめる。
シリーズ作品を読んで、好きな場面をリーフレットで紹介する。
好きな作品を選び、本のショーウィンドウに書き紹介する。
登場人物の気持ちを想像しながら、音読劇を行う。
説明文で読み取ったことをテーマにポスターセッションで伝え合う。
物語で読み取った行動をペープサートで表現する。

またまた、スイミーの例で具体的に・・・

前回のポイント **単元で付けたい力を見極める。**

指導の中心を「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」とした。

では、**単元を貫く言語活動**をどのように選定する？

- 案1 好きな場面を紙芝居にする。
 - 案2 読み取った行動をペープサートで表現する。
 - 案3 好きな場面の音読発表会を行う。
- この単元では、どれが最適かな？



付けたい力

言語活動の種類や特徴
教材の特質
児童の実態

この単元では、「行動」を読み取ることが苦手な子どもが多いという実態もあるので、登場人物の行動に焦点をあてて指導しよう。だから、案2の「**ペープサート**」がぴったりね。



ペープサートは動きを表現するには**最適**です。

単元を貫く言語活動の大切さは分かったけれど・・・でも、こんな心配の声が・・・

でもやっぱり、活動あって、指導がないという状況にならないか心配・・・

指導のねらいと結び付かない言語活動を選ぶと、心配の通りになってしまいます。「**最適の単元を貫く言語活動**」を選ぶことが大切です。特に、国語科は領域間の関係が深いので、「何をねらい書くのか（話すのか、読むのか）」を明確にすることです。



言語活動を取り入れると、学習時間が足りなくなるのでは？

単元の指導内容を重点化し、精選することが大切です。授業では、活動を詰め込みすぎず、焦点を絞りましょう。また、十分な定着を図るために、計画的に、螺旋的に、繰り返すことが大切です。

指導しなくてはいけない内容が定着しないのでは？

小学校においては「日常生活に必要な基礎的な国語の能力」中学校においても「社会生活に必要な国語の能力の基礎」を身に付けることが求められています。そのためには、言語活動の充実が大切です。

